



# 特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

## 第 15 回通常総会議案書

2020 年 3 月 7 日(土)13 時～14 時

於)NSビル 203 号室(東京都千代田区神田猿楽町 2-2-3)

### 総会議事

---

1. 総会成立の確認
2. 総会開会挨拶
3. 議長選出
4. 書記、議事録署名人の選任
5. 報告事項
6. 審議事項
  - 第一号議案 2019年度事業報告
  - 第二号議案 2019年度決算報告
  - 第三号議案 2020年度事業計画
  - 第四号議案 2020年度予算
7. 行事
  - 活動紹介
8. 議長解任
9. 総会閉会挨拶

**■第一号議案 2019年度事業報告**

1、事業実施の報告	2
2、事業実施に関する事項	
—コンテンツ制作に係る事業—	
（1）市民の視点や人権・環境を考慮にいたした番組の制作	3
（2）人権・環境を考慮に入れた国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介	6
—市民の情報発信（パブリック・アクセス）に係る事業—	
（3）子ども・市民のための映像制作教育	6
（4）市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり	7
（5）社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援	7

**■第二号議案 2019年度決算報告**

活動計算書	9
貸借対照表	11
財産目録	12
注記	13
2019年度監査報告書	15

**■第三号議案 2020年度事業計画**

1、事業実施の方針	16
2、事業実施に関する事項	
—コンテンツ制作に係る事業—	
（1）市民の視点や人権・環境を考慮にいたした番組の制作	17
（2）人権・環境を考慮に入れた国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介	17
—市民の情報発信（パブリック・アクセス）に係る事業—	
（3）子ども・市民のための映像制作教育	17
（4）市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり	17
（5）社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援	18

**■第四号議案 2020年度予算** 19

## 特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

### 2019年度 事業報告書

#### 1、事業実施の報告

2019年度、OurPlanet-TV では、東京電力福島第一原発事故に関連する記事や動画を多数配信。東京弁護士会「人権賞」受賞につながった。とくに、福島県の甲状腺検査をめぐる内容や、伊達市の住民の被ばく線量を解析した「宮崎・早野論文」問題など、他の媒体が自粛傾向を強める中、継続的な報道を展開してきた。

このように、一部の報道で高い評価を得ているものの、番組で取り上げるテーマに大きな偏りが生じている。たとえば、2019年は「桜を見る会」をめぐる公文書管理問題をはじめ、様々な政治課題が噴出したり、また国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」の企画展「表現の不自由展・その後」中止など、「表現の自由」と「公権力」が焦点となったが、OurPlanet-TV は、これらの状況に十分切り込むことはできなかった。こうした報道の偏りの是正は、2020年度の最大の課題である。

2004年度から続いてきたワークショップは、大きな節目にある。長年、開催してきた3ヶ月のコースを年1回としたが、参加者が振るわず、秋の集中コースを中止。春の3ヶ月コースと夏の3日間集中コースの2回のみで開催となった。参加者は全部で10人と低調であった。

一方、助成金事業としてギャンブル依存症当事者を対象に映像制作ワークショップを実施。山梨と都内の2ヶ所で計10人が参加。映像作品を仕上げた。また、9月には、南相馬市立小高中学校の1年生を対象に、授業の一環として映像ワークショップを実施。VR(バーチャル・リアリティ)カメラを使い、小高の町を撮影し発信する取り組みを行った。

財政面は、2016年度以来3年ぶりの黒字決算となった。とはいえ、収入全体は予算額に達しておらず、さらなる努力が必要である。一方、年末の定期的なキャンペーンが定着するなど、寄付収入は増えている。来年度は、認定NPOの更新作業時期を迎えるが、非営利の独立メディアとして、財政的な安定化をはかれるよう、引き続き努力していきたい。

代表理事 白石 草

- (1) 会員数 2020年1月末日現在  
正会員 22名 / 賛助会員 個人238名(新規16名) / 団体 1
- (2) 従業員の状況  
\*フルタイムスタッフ3名
- (3) 活動の拠点  
\*東京事務所

## 2、事業実施に関する事項

### —コンテンツに制作に係る事業—

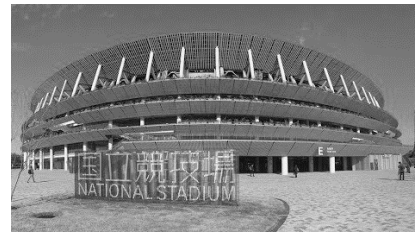
#### (1) 市民の視点や人権・環境を考慮にいたった番組の制作

##### 独自企画番組の制作および配信

2019年度は、特集番組にあたる ContAct は1本のみ、アイヌ民族を取材した映像作家・溝口尚美さんのインタビューにとどまった。

News は、前年度を15本下回る89本で、もっとも多く取り上げたのは、東京電力福島原発事故に関連するもので、54本(10本増)だった。原子力規制委員会の公文書2万点が行方不明になっていることを報じたスクープ記事をはじめ、福島県の小児甲状腺がん問題や、伊達市を舞台に問題となっている個人線量計データの不正使用問題など、調査報道が多くを占めた。

一方、2018年に配信数が多かった五輪関連は、開催前年でありながら14本と7本減った。また独自テーマの番組・記事を配信できなかったことが反省点である。「森の映画社」からの配信により、沖縄の新基地建設等に関するものが7本(4本減)。あいちトリエンナーレなどの関連番組が4本、その他は計9本(死刑1本、休眠預金1本、プラスチックNGO集会1本、入管問題1本、子どもの権利条約1本)と、取り上げるテーマの偏りが課題である。



#### 【事業内容】

映像作品 (ContAct/NewsClips)

配信番組は計89番組

##### ◆ CONTACT 1本

3月 5日 『現代を生きるアイヌ民族を伝える～映像作家・溝口尚美さん』

##### ◆ NEWS 88本

1月 7日 『「沖縄の今」を伝える独立系メディアが県記者クラブに加盟』

1月 9日 『線量論文の誤り「遺憾だが影響ない」～原子力規制委員長』

1月11日 『「休眠預金」の分配団体に「経団連」系団体が決定』

1月15日 『JOC竹田会長、7分で会見打ち切り 質疑なし』

1月17日 『土砂運搬船に抗議～辺野古新基地建設』

1月19日 『1年半前「同意のみ使用」確認～宮崎・早野論文問題』

1月24日 『研究依頼文書に事実と異なる記述～宮崎・早野論文問題』

1月25日 『毎時0.23マイクロシーベルトは「数字の一人歩き」～放射線審議会』

1月25日 『甲状腺検査の見直し検討本格化～学校健診打ち切りへ』

2月 4日 『被曝データ提供問題で調査委が初会合～宮崎・早野論文』

2月 9日 『追加の証拠提出～福島原発事故公判・東京地裁』

2月 7日 『県民投票「賛否選んで」ハズレした元山さん』

2月 8日 『千代田テクノルのデータを研究に使用認める～宮崎・早野論文』

2月15日 『五輪会場の工事現場を公開～一部で遅れ』

2月18日 『「プライバシーの侵害だ」IoT 調査の中止求めて市民ら会見』

2月20日 『横浜地裁、5例目の「国の責任」認める判決～原発避難者訴訟』

2月21日 『甲状腺検査は「益」か「害」か～同意書をめぐり平行線』

2月26日 『黒川氏が解説「宮崎早野論文問題」～伊達市議員勉強会』

2月27日 『「意思示そう」県民投票前日、若者ら80キロ行進』

2月27日 『原子力緊急事態宣言の対象区域「わからず」～内閣府が回答』

3月 1日 『「記者クラブ」を痛切に批判した舞台が受賞～読売演劇大賞』  
 3月 4日 『「暴力止めて」辺野古抗議の市民ら、警察官を告訴』  
 3月 7日 『慶応大生が開沼博氏を提訴～名誉毀損で』  
 3月 8日 『「原発事故後の甲状腺検査のあり方は」IARC 報告書を受けシンポ』  
 3月14日 『千葉地裁、「国の責任」認めず～原発避難者訴訟』  
 3月14日 『甲状腺サポート事業「全員甲状腺がん」は誤りと謝罪～実態は不透明』  
 3月15日 『「低線量被ばくの健康影響」議論本格化～新潟県検証委員会』  
 3月19日 『JOC 竹田会長、退任表明～五輪招致の汚職疑い』  
 3月27日 『伊達市住民に100ミリ超～「宮崎・早野論文」検証で指摘』  
 4月 4日 『奄美大島に地对艦ミサイル部隊～住民に反対の声』  
 4月 5日 『甲状腺がん悪性疑い211人～福島県集計データ』  
 4月12日 『「弾薬庫、だまし討ちだ」宮古島自衛隊式典』  
 4月12日 『入管収容者、最長で5年以上収容も～支援団体が調査』  
 4月17日 『東京五輪、過酷な競技スケジュール～早朝から深夜まで開催』  
 4月22日 『「子どもの権利条約」市民団体がキャンペーン～批准25周年』  
 5月 8日 『被曝データ不正提供で初のヒヤリング～宮崎早野論文問題』  
 5月10日 『除染土壌の再利用で激論～市民らの意見聴取』  
 5月14日 『宮崎氏が伊達市議会の要請に応じず～宮崎早野論文問題』  
 5月23日 『規制庁が早野氏へご意向メール～放射線審議会報告書の採用めぐり』  
 5月22日 『原発事故後の復興 PR に240億円～電通1社で』  
 5月27日 『五輪の建設現場ですでに3人死亡～国際労組も警鐘』  
 5月25日 『診療情報を3年放置～福島県・甲状腺検査サポート事業』  
 6月 2日 『甲状腺がん「放射線関連なし」～一度も議論せず報告書公表』  
 6月 3日 『聖火リレーのルート発表～双葉町も検討』  
 6月 7日 『「使い捨てプラスチックの大幅な削減を」NGOら緊急集会』  
 6月17日 『甲状腺がん子ども基金149人に給付～福島での再発転移12人』  
 6月19日 『甲状腺がん患者が福島県へ要望書～県民の意見の反映求め』  
 6月26日 『伊達市議会「被曝データ提供特別委員会」設置～宮崎早野論文問題』  
 6月26日 『宮崎氏が伊達市に「同意書」確認～宮崎早野論文問題』  
 7月 1日 『委員、直前まで知らされず～被曝否定の根拠データ』  
 7月 5日 『甲状腺がん報告書を一部修正へ～「被曝と関係認められない」見直し』  
 7月19日 『東大・福島医大「研究不正なし」～宮崎・早野論文』  
 7月23日 『「五輪は災害」～反五輪団体が五輪中止を求め声明』  
 7月24日 『福島県甲状腺検査「評価部会報告」を了承～文言の修正なし』  
 7月25日 『原発事故後の防護基準10ミリに緩和へ～ICRP』  
 7月25日 『都内で五輪抗議アクション～東京五輪1年前』  
 7月29日 『山下俊一氏と鈴木眞一氏、証人尋問へ～子ども脱被ばく裁判』  
 8月 2日 『死刑執行に人権団体が抗議～安倍政権下48人目』  
 8月 6日 『「表現の不自由展」再開を～出展者や学者らが抗議』  
 8月21日 『放射能嫌いは「認知バイアス」原子力規制委員がメール』  
 8月22日 『子どもに年10mSv の被曝容認？～放射線新基準でヒヤリング』  
 8月22日 『「展示の再開を」～「表現の不自由展」緊急シンポ』  
 8月23日 『ICRP 新勧告「被災者を守れない」～市民団体が批判』  
 8月29日 『家賃2倍請求やめよ！～自主避難者の住宅問題で市民ら要求』  
 9月 2日 『「放射線だけが敵ではない」～ICRP 委員が勧告案を解説』  
 9月 3日 『「表現の不自由展」実行委と津田氏が別々に会見～同日同会場』  
 9月 6日 『原発事故の防護基準、日本語で意見募集へ～ICRP』  
 9月10日 『展示再開に向けアーティスト「扉開ける」～あいちトリエンナーレ』  
 9月13日 『避難者対策「担当ではない」田中復興大臣』  
 9月14日 『「日本の科学は危機的」～「宮崎早野論文」と研究不正調査を検証』  
 9月18日 『【アーカイブ】ICRP 勧告案に対するヒヤリング』  
 9月19日 『東電会長ら旧経営陣3人に無罪判決～原発事故』

9月20日 『【アーカイブ】福島県議会・福祉公安委員会』  
 10月 4日 『甲状腺がん疑い230人～福島県検査で13人増加』  
 10月17日 『小児甲状腺がんの再発11人～福島県立医大手術例』  
 10月26日 『「10ミリシーベルトに根拠なし」～ICRPの新勧告めぐりシンポ』  
 10月30日 『IOC が東京五輪のホッケー競技場視察』  
 10月31日 『「東京五輪返上」新宿で市民らデモ』  
 11月 1日 『【ノーカット映像】マラソンの札幌開催で決着～四者協議』  
 11月 1日 『費用負担は先送り～マラソンの札幌開催』  
 11月24日 『ローマ教皇「未来世代への責任に気付かねば」～原発被災者と面会』  
 11月26日 『原子力規制委の公文書1万8千件が不明～内閣府に虚偽報告か』  
 11月28日 『不明公文書1万8000件「仕方ない」～原子力規制委員長』  
 12月12日 『ブラック企業大賞～「電通」「吉本興業」など9社をノミネート』  
 12月16日 『国立競技場を初公開～「負の遺産」回避可能か？』  
 12月17日 『聖火リレー第一走者は「なでしこジャパン」～Jビレッジから出発』  
 12月20日 『小児甲状腺がん解明へ向け鈴木眞一氏を証人採用～脱被ばく裁判』  
 12月25日 『避難解除、双葉3月4日、大熊5日～帰還困難区域の一部』

### 福島映像祭2019

第7回目となる「福島映像祭」を9月21日～27日の1週間、ポレポレ東中野にて行った。映画5本、テレビ番組2本の上映のほか3つのイベントを企画。今回は上映プログラムを地下劇場と1Fカフェ&スペースで行い、上映回数を1日2回に増やした。

#### <映画上映>

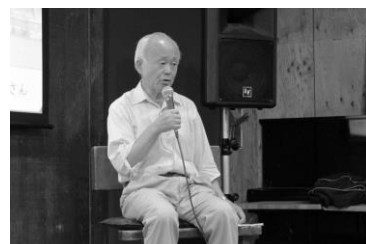
ドキュメンタリー映画3作品とフィクション2作品、テレビ番組2作品を上映。1週間でのべ380人以上が来場した。とくに現役高校生が製作した『日本一大きなやかんの話』は大きな反響があり、上映後のディスカッションも盛況となった。

- ◆ 『失われた春』 監督:田嶋雅己(2019年/129分/日本)
- ◆ 『星に語りて～Starry Sky～』 監督:松本動(2019年/115分/日本)
- ◆ 『日本一大きなやかんの話』 監督:矢座孟之進(2019年/50分/日本)
- ◆ 『ニッポニアニッポン フクシマ狂詩曲』 監督:才谷遼(2019年/113分/日本)
- ◆ 『富岡 わが愛(仮題)未完成版上映』 監督:島田隆一(2019年/70分/日本)
- ◆ 『マリアとフクシマ』 製作:関西テレビ放送 (2018年/60分/日本)
- ◆ 『フクシマの母～母子避難8年・闘いの記録～』 製作:毎日放送(2019年/50分/日本)

#### <イベント>

毎年恒例の企画に加え、今回は双葉郡にフォーカスしたイベントを企画。双葉町の最新映像を交えながら、井戸川克隆前町長をゲストに事故当時を振り返った。

- ◆ 市民部門上映&トーク「わたしが伝える福島」 参加者:23人  
 ゲスト:城島めぐみ/千葉偉才也(リテラシー・ラボ)/山田徹 コメンテーター:下村健一
- ◆ 上映&トーク「福島中央テレビの現場から」 参加者:49人  
 ゲスト:佐藤崇(福島中央テレビ) 聞き手:小田桐誠(ジャーナリスト)
- ◆ 上映&トーク上映&トーク「双葉町のいま」 参加者:69人 ゲスト:井戸川克隆(元双葉町長)



## DVD販売

販売数は昨年よりはふるわなかったものの『チェルノブイリ 28年目の記録』『飯館村 わたしの記録』ともに現在も注文が入っている。

## 自主上映

『飯館村 わたしの記録』は3月に初めて鳥取県・鳥取市にて上映会が開催された。件数は少ないが、現在も毎年1件は自主上映会が企画されている。

## (2)人権・環境を考慮に入れた国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介

映像コンテンツの翻訳 2019年度は対象となる事業は行わなかった。

## —市民の情報発信(パブリック・アクセス)に係る事業—

### (3)子ども・市民のための映像制作教育

#### 映像ワークショップ

##### 【事業内容】

当初計画では春の3ヶ月コース、夏と秋の3日間集中コース、子ども向けワークショップを開催する計画だったが、集客が振るわず、夏の子どもの向けワークショップと秋の集中コースは中止した。

春と夏のコースの受講者は、20代から60代まで計10人。大学生から会社員、ソーシャルワーカーなど多様な顔ぶれとなった。夏のコースには、札幌、長野、京都など遠方からの参加があった。

また「ろうきん若者応援ファンド」の助成事業として、ギャンブル依存症当事者を対象に映像制作ワークショップを実施した。山梨県にあるギャンブル依存症回復施設「グレイス・ロード」と都内の2ヶ所で開催した。20代から50代までの10人が受講し、当事者が自らを語る10本のビデオが完成した。

このほか、継続的に取材している福島県南相馬市立小高中学校の1年生を対象に、ワークショップを実施。VRカメラを使い、小高の町を記録して発信する取り組みを行った。撮影したVR映像は、文化祭で展示したほか、グーグルマップに掲載し好評である。

##### 【実施実績】

##### ◆ 入門編

- ・春期映像制作ワークショップ:4月～8月 受講者数:3人 完成作品:「長八の生きるまち」
- ・夏期映像制作ワークショップ:7月 受講者数:6人 完成作品:「ミマツ靴店のヒミツ」「路地と人と人々」

##### ◆ ギャンブル依存症当事者への映像制作ワークショップ

- ・場所 ギャンブル依存症回復施設「グレイス・ロード」(山梨県) 5月～7月(4日間) 受講者数:5人
- ・場所 OurPlanet-TV(都内) 10月～11月(4日間) 受講者数:5人

- ◆ 南相馬市立小高中学校映像記録プロジェクト(総合学習授業/9月)参加者数:中学1年生16人



#### (4) 市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり

##### メディアセンター

###### 【事業内容】

引き続き日本ビジュアルジャーナリスト協会(JVJA)、アジアプレス、NPO法人独立映画鍋がメディアカフェの常駐利用会員となり、安定した収入源となった。しかし、2020年3月末で日本ビジュアルジャーナリスト協会(JVJA)の退去が決定し、新たな常駐利用会員を探す必要がある。メディアカフェの編集PC利用のニーズはあるものの、市民が交流する場の提供にはいたらなかった。

##### アドボカシーおよびキャンペーン活動

###### 【事業内容】

国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」の企画展「表現の不自由展・その後」中止をめぐり、JVJA などと共催し、文京区民センターで緊急シンポジウムを開催。会場が溢れる 500人が詰めかけた。

『「表現の不自由展・その後」中止事件を考える』

日時:8月22日(木) 場所:文京区民センター

第1部:出品していた美術家など「何が展示され何が起きたのか」

安世鴻(写真家)/大浦信行(美術家・映画監督)/朝倉優子(マネキンフラッシュモブ)/他

第2部:「中止事件をどう考えるのか」

金平茂紀(TV ジャーナリスト)/香山リカ(精神科医)/滝田誠一郎(日本ペンクラブ)/他

進行:篠田博之(『創』編集長)/綿井健陽(映像ジャーナリスト)

主催:8・22実行委員会(『創』編集部/日本ビジュアルジャーナリスト協会/OurPlanet-TV/アジアプレス・インターナショナル/メディアフォーラム/表現の自由を市民の手に全国ネットワーク/アジア記者クラブ/他)

#### (5) 社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援

##### 映像コンテンツなどの受託制作

###### 【事業内容】

2019年度は、「模擬法廷」の中継など、これまでとは異なる新たな受託事業を実施したほか、東京ボランティア市民活動センターからも映像の依頼を受けるなど、幅広く受託映像制作を行った。

一方、NGO・NPO を対象にアンケート調査を実施し、新たなクライアントの開拓につなげる計画だったが、アンケートの公表などを含め、十分に計画が実施できなかった。営業が課題である。

- ◆ 城南信用金庫(年次ビデオ)2月
- ◆ 文星閣(イベント記録)5月
- ◆ 城南信用金庫(よい仕事おこしフェア中継)10月
- ◆ 現代人文社(模擬法廷)11月
- ◆ NPO 法人アジア太平洋資料センター(教材ビデオ「プラスチックごみー日本のリサイクル幻想」)11月
- ◆ 城南信用金庫(未来塾オンライン教材ビデオの作成)12月

##### 広報セミナー

###### 【事業内容】

2018年に実施した広報セミナーを更に発展させ、今年はとくに「戦略的広報の実践」にフォーカスしたプログラムを開催。WWF ジャパンの小西雅子さん、毎日新聞の吉永磨美さんを招き、より具体的な広報戦略の考え方を学んだ。長年活動する国際NGOから、若い世代が立ち上げた新しいNPO、地域に根付いた活動を展開する団体まで、経験や活動領域の多様な参加者17人が受講した。

セミナーから派生し、市民セクターの発信力強化とメディアとの関係づくり、意見交換の場として「アンプラ広報ゼミ」も10月から開始。来年度も定期的に継続していく。



## 組織

### ファンドレイジング

今年支援者管理データベース「Salesforce」とクレジット決済システム「Syncable」を新しく導入し、ファンドレイジングの刷新に力を入れた。キャンペーンはマンスリー寄付登録キャンペーン(3月)、バースデーネーション(8月)、福島映像祭賛同・協賛募集(9月)、年末キャンペーン(11～12月)計4つを実施。昨年に引き続き400万円以上の寄付総額となった。ニュースレターは例年通り年2回(4月、11月)発行した。

- ◆ マンスリー寄付登録キャンペーン 24人登録
- ◆ バースデーネーション 170人以上から約160万円
- ◆ 福島映像祭賛同・協賛募集 16人1団体から約29万円
- ◆ 年末キャンペーン 100人以上から約100万円

- ・新規入会者名 16人(賛助会員個人)
- ・寄付総額 440万円以上 / 寄付者 347人
  - 2万～5万円未満 44人(18人増)
  - 5万～10万円未満 8人(2人減)
  - 10万円以上 5人(5人減)

### 【助成金実績】

- ・ザ・ボディショップ・ニッポン基金(南相馬市小高中学の子どもたちとの映像記録\*継続) 20万円
- ・中央ろうきん若者応援ファンド(ギャンブル依存症若年患者を対象とした映像ワークショップ) 184万円

### スタッフ体制

昨年に引き続きフルタイムスタッフは3人体制となった。インターンは3名を受け入れた。

## 活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

自 2019年1月1日 至 2019年12月  
31日

**【経常収益】**

**【受取会費】**

正会員受取会費	230,000		
賛助会員受取会費	2,150,000		2,380,000

**【受取寄付金】**

受取寄付金			4,447,882
-------	--	--	-----------

**【受取助成金等】**

受取助成金			2,040,000
-------	--	--	-----------

**【事業収益】**

メディア支援事業収益			13,233,286
------------	--	--	------------

**【その他収益】**

受取 利息	43		
雑 収 益	30,000		30,043

経常収益 計

22,131,211

**【経常費用】**

**【事業費】**

(人件費)

給料 手当(事業)	7,656,168		
法定福利費(事業)	1,197,008		
通 勤 費(事業)	309,010		
福利厚生費(事業)	143,447		
人件費計	9,305,633		

(その他経費)

売上 原価	25,237		
外注費 (事業)	1,688,672		
諸 謝 金	426,370		
印刷製本費(事業)	114,570		
会 議 費(事業)	105,671		
旅費交通費(事業)	1,083,531		
通信運搬費(事業)	368,879		
消耗品費(事業)	99,185		
機材費 (事業)	187,931		
修 繕 費(事業)	89,772		
資料費(事業)	106,266		
水道光熱費(事業)	282,900		
WEB構築費	414,570		
地代 家賃(事業)	1,741,824		
会場費(事業)	3,000		
広告宣伝費	26,770		
リース料	18,150		
保 険 料(事業)	12,350		
諸 会 費(事業)	7,400		
租税 公課(事業)	7,670		
支払手数料(事業)	2,162		

映面上映料	211,688		
雑 費(事業)	18,586		
その他経費計	<u>7,043,154</u>		
事業費 計		16,348,787	
<b>【管理費】</b>			
(人件費)			
給料 手当	1,914,042		
法定福利費	299,252		
通 勤 費	130,240		
福利厚生費	2,285		
人件費計	<u>2,345,819</u>		
(その他経費)			
印刷製本費	113,766		
支払 報酬	356,265		
会 議 費	19,390		
旅費交通費	750		
通信運搬費	278,570		
消耗品 費	103,907		
水道光熱費	70,725		
地代 家賃	435,456		
接待交際費	3,292		
諸 会 費	129,772		
租税 公課	2,800		
支払手数料	228,957		
雑 費	10,486		
その他経費計	<u>1,754,136</u>		
管理費 計		4,099,955	
経常費用 計			20,448,742
当期経常増減額			<u>1,682,469</u>
<b>【経常外収益】</b>			
経常外収益 計			0
<b>【経常外費用】</b>			
経常外費用 計			<u>0</u>
税引前当期正味財産増減額			1,682,469
法人税、住民税及び事業税			<u>70,000</u>
当期正味財産増減額			1,612,469
前期繰越正味財産額			8,568,791
次期繰越正味財産額			<u><u>10,181,260</u></u>

# 貸借対照表

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
2019年12月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		預り金	290,553
現金	11,581	未払法人税等	70,000
ドル現金	34,511	流動負債合計	360,553
普通預金	9,127,451	<b>負債合計</b>	<b>360,553</b>
ペイパル	24,904	<b>正味財産の部</b>	
シンカブル	189,300	前期繰越正味財産	8,568,791
現金・預金計	9,387,747	当期正味財産増減額	1,612,469
(棚卸資産)		<b>正味財産合計</b>	<b>10,181,260</b>
商品	62,066		
棚卸資産計	62,066		
流動資産合計	9,449,813		
<b>【固定資産】</b>			
(投資その他の資産)			
敷金	1,092,000		
投資その他の資産計	1,092,000		
固定資産合計	1,092,000		
<b>資産合計</b>	<b>10,541,813</b>	<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>10,541,813</b>

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV  
全事業所

[税込] (単位：円)  
2019年12月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現 金	11,581
ドル 現金	34,511
普通 預金	9,127,451
三菱UFJ 神保町	(6,261,323)
三菱UFJ 特別	(10,000)
三菱UFJ トヨタ	(902)
三菱UFJ 春日町	(20)
城南信金九段下	(184,293)
郵便貯金総合	(2,088,687)
郵便振替	(582,226)
ペイパル	24,904
シンカブル	189,300
現金・預金 計	9,387,747

(棚卸資産)

商 品	62,066
棚卸資産 計	62,066

流動資産合計

9,449,813

### 【固定資産】

(投資その他の資産)

敷 金	1,092,000
投資その他の資産 計	1,092,000

固定資産合計

1,092,000

資産合計

10,541,813

## 《負債の部》

### 【流動負債】

預 り 金	290,553
報酬源泉	(52,360)
健康・介護	(61,045)
厚生年金	(103,858)
給与源泉	(73,290)
未払法人税等	70,000

流動負債合計

360,553

負債合計

360,553

正味財産

10,181,260

2019年度（令和元年） 計算書類の注記

特定非営利活動法人OurPlanet-TV

1. 重要な会計方針  
 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。  
 (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
 棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は主として最終仕入原価法によっています。  
 (2) 消費税等の会計処理  
 消費税等の会計処理は税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況  
 別紙参照

3. 用途等が制約された寄附金等の内訳  
 用途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。  
 当法人の正味財産は10,181,260円ですが、そのうち用途が特定された寄附金等はありません。  
 したがって用途が制約されていない正味財産は10,181,260円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
受取寄附金	0	2,582,541	2,582,541	0	番組制作・福島映像祭
受取寄附金	0	889,576	889,576	0	メディアカフェ・映像制作ワークショップ
受取寄附金	0	444,788	444,788	0	広報支援
中央ろうきん助成金	0	1,840,000	1,840,000	0	ギャンブル依存症当事者向けワークショップ
ボディショップ助成金	0	200,000	200,000	0	南相馬市小中高・子どもの記録
合計	0	5,956,905	5,956,905	0	

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
投資その他の資産						
保証金	1,092,000	0	0	1,092,000	0	1,092,000
合計	1,092,000	0	0	1,092,000	0	1,092,000

注記2.別紙 事業別損益の状況						
						(単位:円)
科目	番組制作情報提供	メディア教育支援	社会貢献メディア支援	事業部門計	管理部門	合計
<b>【経常収益】</b>						
<b>【受取会費】</b>						
正会員受取会費	0	0	0	0	230,000	230,000
賛助会員受取会費	1,075,000	430,000	215,000	1,720,000	430,000	2,150,000
受取会費計	1,075,000	430,000	215,000	1,720,000	660,000	2,380,000
<b>【受取寄付金】</b>				0		
受取寄付金	2,582,541	889,576	444,788	3,916,905	530,977	4,447,882
受取寄付金計	2,582,541	889,576	444,788	3,916,905	530,977	4,447,882
<b>【受取助成金等】</b>				0		
受取助成金	200,000	1,840,000	0	2,040,000	0	2,040,000
受取助成金等計	200,000	1,840,000	0	2,040,000	0	2,040,000
<b>【事業収益】</b>				0		
メディア支援事業収益	1,292,876	1,448,000	10,492,410	13,233,286	0	13,233,286
事業収益計	1,292,876	1,448,000	10,492,410	13,233,286	0	13,233,286
<b>【その他収益】</b>				0		
受取利息	0	0	0	0	43	43
雑収益	30,000	0	0	30,000	0	30,000
その他収益計	30,000	0	0	30,000	43	30,043
<b>経常収益計</b>	<b>5,180,417</b>	<b>4,607,576</b>	<b>11,152,198</b>	<b>20,940,191</b>	<b>1,191,020</b>	<b>22,131,211</b>
<b>【経常費用】</b>				0		
(人件費)				0		
給料手当	3,828,084	1,914,042	1,914,042	7,656,168	1,914,042	9,570,210
法定福利費	598,504	299,252	299,252	1,197,008	299,252	1,496,260
通勤費	177,180	131,830	0	309,010	130,240	439,250
福利厚生費	6,080	99,390	37,977	143,447	2,285	145,732
人件費計	4,609,848	2,444,514	2,251,271	9,305,633	2,345,819	11,651,452
(その他経費)						
売上原価	17,448	7,789	0	25,237	0	25,237
外注費	62,400	21,600	1,604,672	1,688,672	0	1,688,672
諸謝金	85,000	231,370	110,000	426,370	0	426,370
印刷製本費	103,910	9,180	1,480	114,570	113,766	228,336
支払報酬	0	0	0	0	356,265	356,265
会議費	73,904	16,031	15,736	105,671	19,390	125,061
旅費交通費	872,531	128,020	82,980	1,083,531	750	1,084,281
通信運搬費	368,879	0	0	368,879	278,570	647,449
消耗品費	49,308	13,331	36,546	99,185	103,907	203,092
機材費	59,418	31,751	96,762	187,931	0	187,931
修繕費	89,772	0	0	89,772	0	89,772
資料費	39,350	10,702	56,214	106,266	0	106,266
水道光熱費	141,450	70,725	70,725	282,900	70,725	353,625
WEB構築費	103,230	0	311,340	414,570	0	414,570
地代家賃	870,912	435,456	435,456	1,741,824	435,456	2,177,280
接待交際費	0	0	0	0	3,292	3,292
諸会費	0	0	0	0	129,772	129,772
会場費	0	0	3,000	3,000	0	3,000
広告宣伝費	23,270	3,500	0	26,770	0	26,770
リース料	0	0	18,150	18,150	0	18,150
保険料	12,350	0	0	12,350	0	12,350
諸会費	7,400	0	0	7,400	0	7,400
租税公課	6,470	0	1,200	7,670	2,800	10,470
支払手数料	2,162	0	0	2,162	228,957	231,119
映画上映料	211,688	0	0	211,688	0	211,688
雑費	15,166	3,420	0	18,586	10,486	29,072
その他経費計	3,216,018	982,875	2,844,261	7,043,154	1,754,136	8,797,290
<b>経常費用計</b>	<b>7,825,866</b>	<b>3,427,389</b>	<b>5,095,532</b>	<b>16,348,787</b>	<b>4,099,955</b>	<b>20,448,742</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>-2,645,449</b>	<b>1,180,187</b>	<b>6,056,666</b>	<b>4,591,404</b>	<b>-2,908,935</b>	<b>1,682,469</b>

## 監査報告書

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

代表理事 白石 草 様

私は、第15期2019年1月1日から2019年12月31日までの監査を行ない、次のとおり報告する。

### 1、監査の方法の概要

会計監査について、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を監査した。（監査実施日2020年2月4日13:45～14:15）  
業務監査については聴取によって実施した。

### 2、監査意見

（1）活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認める。

（2）理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

2020年2月4日

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

監 事

早坂 毅 



## 特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

### 2020年度 事業計画

#### 1、事業実施の方針

---

東京五輪開催年となる2020年は、五輪を盛り上げるキャンペーン報道が賑やかになるとともに、憲法改正への体制作りが行われるとみられる。「復興五輪」の名の下、東京電力福島原発事故の避難指示解除や常磐線全線開通、聖火リレーなどによる「復興キャンペーン」により、原発事故の被災者が取り残され、声を上げられない事態が想定される。また、五輪に向け、外国人に対する取り締まりや入管制度が強化されており、様々な人権侵害が懸念される。五輪とそれに伴う人権侵害や環境破壊などを主軸に据えつつ、「自分たちにやれること」を淡々と取り組んでいきたい。

これらを実現するために、OurPlanet-TV では2020年度、制作体制の変更を行う。具体的には、これまで内制化中心だった動画コンテンツの制作を、広く映像ジャーナリストに呼びかけ、より多様なニュースや特集が配信できるよう切り替えていく。月に1回企画会議を開催し、それぞれのジャーナリストが専門とする領域のニュースや企画を提案してもらい、配信していく。

また、これら外部のジャーナリストらとの協力関係を強化することにより、危機的な状況にある問題に対しても、迅速かつ連帯して対峙できる体制をつくるとともに、人々にインパクトのある情報や映像を提供できるよう、力を入れていきたい。

なおワークショップに関しては、2020年度は助成金や具体的な予算措置のある案件だけに対応する方針とし、独自事業としては実施しないこととする。

財政面では、昨年導入したクレジット決済システムや会員管理システムを最大限に活用し、事業やファンドレイジングの効率化などを図っていく。また、認定NPO更新への事務作業や大きな課題となっているWEB サイトのリニューアルも具体化していく。さらに、組織の推進力を高めていくために、理事会の開催頻度を高め、組織経営に対する役員の間与を高めるとともに、ボランティアを含めた間与者を増やしていきたい。

代表理事 白石 草

## 2、事業実施に関する事項

### —コンテンツに制作—

#### (1) 市民の視点や人権・環境を考慮にいたった番組の制作

##### 独自企画番組の制作および配信

2020年は、いよいよ五輪イヤーとなる。これまで、十分な独自取材ができていないが、緻密な調査報道や映像の記録など、外部のジャーナリストやクリエイターとも協力して取り組みたい。また、五輪の影で、終わりにされようとしている福島原発事故の問題も、引き続き、精力的に取材していく。現在の取材体制には限界面が出ているため、制作のあり方についても見直しを検討したい。

##### 福島映像祭・ふくしまのこえ

福島関連の映像作品が減少していることから、開催日数や形態を再考する。

##### DVD販売・自主上映

在庫を抱えているDVD「飯舘村 わたしの記録」についてはセールや監督への委託販売を行うなどして販売を拡げていく。自主上映に関しては、とくに3月前後に力を入れて案内していきたい。

#### 人権・環境を考慮に入れた国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介

##### 映像コンテンツの翻訳

「東電テレビ会議～49時間の記録」英訳版(100分版)の海外上映を何らかの形で実施していく。

##### 映画紹介

主にメールマガジン、ニュースレター等で紹介していく。ドキュメンタリー映画に限らず、多様な視点を持つインディペンデント作品も取り上げたい。

### —市民の情報発信(パブリック・アクセス)に係る事業—

#### (3) 子ども・市民のための映像制作教育

##### 映像ワークショップ

【事業内容】 専修大学の授業など、助成金や具体的な予算措置のある案件だけに対応する。

【実施期間】 9月 専修大学(5日間)

#### (4) 市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり

##### メディアカフェ

【事業内容】 引き続き事務局スペースのデスクを貸し出すサービスを実施。「日本ビジュアルジャーナリスト協会(JVJA)」が3月で利用を中止する。4月以降は「アジアプレス」「NPO法人独立映画鍋」の2団体の入居となるため、新たな入居者の開拓を行う。

【実施時期】 1月～12月随時

##### アドボカシー活動

【事業内容】 ソーシャル・ジャスティス基金より助成を受け、甲状腺がんにかかった子どもたちの声を伝える新たなビデオプロジェクトに取り組む。社会から孤立し、これまで封印されていた患者と家族のリアルな声を国内外に広く発信することを目指す。また、今年は東京五輪の開催とともにメディアの更なる商業主義化、萎縮が懸念される。「報道の自由」「メディアの独立」に関する問題提起となるような試みを行っていきたい。

【実施時期】 1月～12月随時

## (5) 社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援

社会貢献支援事業は、ライブ配信やウェブ構築など、新たな分野を広げていきたい。

### 映像コンテンツなどの受託制作

【事業内容】 大手のNPOやNGOなどに積極的に営業をかけ、利益率の高い受託映像制作の案件を増やすべく取り組む。その際、クラウドファンディングによるビデオを活用したキャンペーンの立て方や遺贈ビデオの制作など、それぞれの団体(クライアント)の寄付向上などに寄与するようなプログラムを開発し提案を行っていく。

【実施時期】 1月～12月随時

### 講師派遣

【事業内容】 希望に応じて、映像ワークショップや広報セミナーの講師派遣または運営・実施を行う。

【実施時期】 随時

### 広報セミナー・広報サポート

【事業内容】 昨年に引き続き、過去の広報セミナー受講者を主な対象とした少人数制の「広報ゼミ」を定期的に開催する。各団体が実施している広報例をケーススタディとして掘り下げるとともに、記者との意見交換を通して、メディア戦略のたて方、プレスリリース作成、SNSの活用について広報のポイントを深めていく。市民セクター全体の広報力の底上げに貢献したい。

【実施時期】 随時

## —組織運営に関する事項—

### 組織・体制

認定NPO法人の更新となるため遅延、不備のないよう書類の作成を進める。

4月より常勤スタッフが1名退職し2名となるため、必要に応じてスタッフを配置する。またインターンを積極的に受け入れる。

### ファンドレイジング

キャンペーンは年に3回程度実施し、とくに新規会員・寄付者の開拓に力を入れたい。会員向けニューズレターは4月、11月に発行する。助成金も随時申請していく。

### 【実施時期】

4月 マンスリー寄付 登録キャンペーン

8～9月 夏の寄付キャンペーン

11月 年末寄付キャンペーン

## 活 動 予 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV

自 2020年 1月 1日 至 2020年 12月 31日

**【経常収益】**

**【受取会費】**

正会員 年会費	200,000
賛助会員 年会費	2,500,000

**【受取寄付金】**

一般寄附	4,500,000
------	-----------

**【受取助成金等】**

助成金	2,300,000
-----	-----------

会費・寄付・助成金 収益 計	9,500,000
----------------	-----------

**【事業収益】**

番組制作情報提供	1,000,000
メディア教育支援	1,000,000
社会貢献メディア支援	10,000,000

事業収益 計	12,000,000
--------	------------

**【その他収益】**

受取 利息	-
-------	---

雑 収 益	-
-------	---

その他収益 計	0
---------	---

<b>経常収益 計</b>	<b>21,500,000</b>
---------------	-------------------

**【経常費用】**

**【事業費】**

(人件費)

給与	5,000,000
法定福利費	750,000

(その他経費)

福利厚生費	50,000
通信費	500,000
荷造 運賃	50,000
水道光熱費	320,000
旅費交通費	1,200,000
接待交際費	40,000
広告宣伝費	50,000
会議費	150,000
事務消耗品	50,000
備品消耗品	50,000
機材費	500,000
新聞図書費	100,000
印刷経費	150,000
修繕費	100,000
地代 家賃	1,760,000
会場費	500,000
雑費	50,000

外注費	4,000,000	
謝礼金	100,000	
仕入	100,000	
WEB構築	1,000,000	
映画上映料	100,000	
事業費計		<u>16,670,000</u>
<b>【管理費】</b>		
(人件費)		
給与	2,000,000	
法定福利費	300,000	
(その他経費)		
福利厚生費	20,000	
通信費	150,000	
荷造運賃	150,000	
水道光熱費	80,000	
旅費交通費	500,000	
会議費	40,000	
事務用消耗品費	50,000	
備品消耗品費	50,000	
新聞図書費	50,000	
印刷経費	100,000	
修繕費	100,000	
地代家賃	440,000	
保険料	50,000	
租税公課	500,000	
諸会費	150,000	
支払手数料	100,000	
雑費	-	
管理費計		<u>4,830,000</u>
<b>経常費用計</b>		<u><b>21,500,000</b></u>
当期経常増減額		0